

国立国語研究所学術情報リポジトリ

学習者の日本語も教材にできる「自然会話リソースバンク（NCRB：Natural Conversation Resource Bank）」：

新しい形の共同構築型多機能データベース

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-03-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宇佐美, まゆみ, 小川, 都, 張, 未未 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003194

Q. NCRB (Natural Conversation Resource Bank) とは？

Q. 誰が使う？



●日本語学習者：

WEB上で自由は

WEB上で自由に、自分のペースで、自分の好きなシーンから**独習**できる。**初級から超級に至る**までのすべてのレベルの学習者が、各自のレベルや興味に応じて活用できる。特に**海外の学習者**は、日本語の自然な会話に触れることによって、学習動機を高めることができる。

●日本語教師：

日本語の**授業中**に、日本語会話の音調や間合いの学習、討論の材料などとして、多様に活用できる。スピーチレベルのシフトなどの、場面や人間関係に応じたコミュニケーションの方法について**議論させる**など、さまざまな活用法がある。

●自然会話の音声・動画及び文字化資料を搭載した共同構築型「多機能データベース」

●語用論・対人コミュニケーション
研究用の『BTSJ日本語自然会話
コーパス』を含む、さまざまな**自然
会話**を格納

●教材作成支援機能を持つ、共同構築型の『自然会話を素材とするWEB教材』

世界初の試み！

👉YouTubeとウィキペディアを
合体したような共同構築型
「自然会話を素材とするWEB教材」

Q. どのように使う？ (教材作成画面)

7. ユーザー登録をして、
「教材を作成したい方はこちら」から入る

Q. どんな教育ができる？

●日本への興味を喚起、日本語学習への動機付けになる。

●学習者として、実際のコミュニケーションの**擬似体験**ができる。

●自然会話を素材とする教材に触れさせることで、学習者に日本語の多様性を認識させることができる。

●言語使用を**非言語行動**とともに理解できる。

●教科書の日本語と自然な日本語の違いを意識化できる。

●母語話者と学習者の日本語を比較し、学習者が自らの言語行動を可視化し、**振り返**ることができる。

学習者の日本語も
教材にできる！👉

●学習者自身が、**学びたいことを見つける**ことができる。

●学習者だけでなく、日本語教師の気づきを促すことができる。

Q. 何をめざす？

母語場面、接触場面を問わず、「動画と文字化資料」を
核とする自然会話素材を集めたリソースバンクを構築
(研究用、教材用)

世界中の接触場面、母語場面における自然な日本語
コミュニケーション素材を**共同**でWEB教材化

共同構築型「自然会話を素材とするWEB教材」の作成

世界的教材共有ネットワークの構築

「自然会話教材の高度共有化」
「教材作成支援システムの活用」などを通して、
「教師共同体の形成」という
「新しい言語教育のあり方」を提案、展開する！

本研究は、国立国語研究所の機関拠点型基幹研究プロジェクト「日本語学習者のコミュニケーションの多角的解明」、サブ・プロジェクト「日本語学習者の日本語使用の解明」（リーダー：宇佐美まゆみ）、およびJSPS科研費挑戦的研究（萌芽）18K18685「コミュニケーション能力を高める自然会話教材の高度共有化－共同体の構築に向けて－」（研究代表者：宇佐美まゆみ）の成果の一部である。

[illegible][illegible]

この会員の基本情報			
会員名 (必須)	※姓順に記述するのを、敬請に求めています。	共同所属 (必須)	文字列からランダムに生成 () 共同所属不可 () 数値付与 () 共同所属不可 ()
会員の職階 (必須)		研究費助成の所属 (必須)	研究費助成/本人/学生と生徒など
会員の職 (必須)		母体機関/研究/研究機関	母体機関 ()
姓順に記述される苗字名 (必須)	田中, 田中, 田中 ※姓順に記述するのを敬請に求めています。例: 田中, 田中		
性別 (必須)		研究の社会的公益性 (必須)	
会員の性別を指定しなさい (必須)	女性男性 ()	公益性	
会員の就業方法、条件			
キーワード	選択して記入してください ※検索に使用されるので、慎重に考えてください。	リストにならないキーワード	リストにならないキーワード

2. 会話の動画を登録して、 会話の基本的な情報を入力する

3. 各発話内容に対して、いろいろな観点から説明を入力する

シーン 番号	登場人物 番号	役名	使用台詞	動作
0028	20	女役	連絡帳をひらいて、さよっと探して出てして(そうそう)、連絡、お、山田さん やう、連絡がとれなくてさうな感じです。	入る
0029	21	ロシア人	さうなものです。	入る
0030	22	ロシア人	お前、連絡がとれなくて(ええ)たては(はい)つたんです(そうはい)、ちょっと 遅いかな、お前、連絡がとれなくて(ええ)たては(はい)つたんです(そうはい)、ちょっと 遅いかな、お前、連絡がとれなくて(ええ)たては(はい)つたんです(そうはい)、ちょっと	入る
0031	23	女役	連絡がとれなくて、連絡がとれなくて(ええ)たては(はい)つたんです(そうはい)、ちょっと	入る
0032	24	女役	ええ、と、日本語です。	入る
0033	25	ロシア人	おー(はい)。	入る
0034	26	女役	おー(はい)、これらでもまだ使っています。	入る
0035	27	ロシア人	おー(はい)。	入る
0036	28-1	女役	はい、ええ、僕たちは、4年におおむねつねて、あのう……サンセットまで	出る
0037	29	女役	おー、さうです(はい)。	入る
0038	28-2	女役	おー(はい)。	入る
0039	30	ロシア人	お、はい。	入る

The diagram is a mind map with a central node labeled '説明' (Explanation). Four main branches extend from this central node to the right, each leading to a box containing specific content:

- Contents**: This branch leads to a box containing two items: '内容の入り方' (How to enter the content) and '内容の出し方' (How to deliver the content).
- Strategies**: This branch leads to a box containing two items: '日本語から英語へ' (From Japanese to English) and '英語から日本語へ' (From English to Japanese).
- Politeness**: This branch leads to a box containing two items: '敬語の使い方' (How to use honorifics) and '敬語の注意点' (Points to note about honorifics).
- Culture**: This branch leads to a box containing two items: '文化の違い' (Cultural differences) and '文化の共通点' (Cultural common points).

Each of these four boxes has a red arrow pointing back to the central '説明' node. Additionally, there are red arrows pointing from the 'Contents' box to the 'Strategies' box, and from the 'Strategies' box to the 'Politeness' box, indicating a sequential flow of information.

4. Step1、2、3の選択問題、記述問題の問題文と答えを作成する

[illegible]

*Step1: 動画を見る前の質問 (ウォーミングアップ)、Step2: 基本的な問題、Step3: 応用問題

るライン
にリンク
ます！

